

八幡市庁舎整備の基本方針

①安全・安心な庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点としての庁舎 ・早期機能復旧が可能な庁舎 ・環境負荷の抑制
②利便性の高い庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い市民サービスの提供 ・わかりやすい庁舎 ・効率的な行政事務の実現
③市民に親しまれ開かれた庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・市のシンボルとしての“八幡らしさ”が感じられる庁舎 ・市民協働を促す開かれた庁舎 ・市民の交流を支える庁舎

計画案

- ・水害対策
- ・免震構造
- ・現庁舎は防災広場に
- ・歩行者と車利用者に
とっての使いやすさ
- ・ロータリーの再編
- ・やわたテラスの構築

第1回市民ワークショップを開催しました



ありがとうございました

今回のワークショップは、初開催にもかかわらず、参加者の皆様には”これからの八幡市庁舎について語ろう”をメインテーマとし、様々なご意見を出して頂きました。八幡市庁舎を良くご存知の方が多く、多岐にわたったご意見は、新庁舎を整備する礎とさせていただきます。次回ワークショップも宜しくお願い致します。

自治会、PTA、各種団体等からご参加いただいた皆様

- 八幡市自治連合会、八幡市PTA連絡協議会
- 八幡幼稚園PTA、八幡市環境市民ネット、八幡市工業会
- 八幡市自主防災推進協議会、(社福)八幡市社会福祉協議会、八幡市商工会
- 八幡市消防団、八幡市女性団体連絡協議会、八幡市身体障害者団体連合会
- 八幡スマートウェルネスシティ推進協議会、(一社)八幡市体育協会
- 八幡市文化協会、防災ネットワークやわた、NPO法人八幡まちづくり協会
- 八幡市民生児童委員協議会、八幡市老人クラブ連合会、だんだんテラスの会



参加頂いた皆様と記念撮影

市民ワークショップ開催について

昭和53年に建設された八幡市庁舎の老朽化、耐震性能の不足等の問題を解決するとともに、庁舎の防災機能の強化と行政サービス機能の充実を図るために、八幡市新庁舎の建設を行うことにしました。それを受けてプロポーザル方式で設計者を選定し、現在その基本設計を進めています。

21世紀を迎えて、行政だけでなく、広い意味での市民がまちづくりに参画する「市民協働社会」が実現しつつあり、開かれた市庁舎の在り方が問われる時代となっています。現在設計を進めている新庁舎においても、「八幡テラス」(市民ひろば、防災ひろば、市民協働広場)をはじめ、さまざまな市民のための空間を用意しています。

そこで、市民の皆様とともに新庁舎の在り方を考えるために、「八幡市庁舎について語ろう」と題する市民ワークショップを2回開催することにしました。1回目は「現庁舎のいい所・悪い所」「八幡市庁舎の計画案について語ろう」、2回目は「市民に親しまれ、開かれた市庁舎の在り方」「八幡テラスをつくろう!」をテーマとしたグループワークを行い、そこで出された意見や提案を新庁舎の設計に反映していく予定です。

“これからの八幡市庁舎について語ろう”をメインテーマにし、2018年10月14日(日)に八幡市文化センター第3会議室にて開催しました。八幡市自治連合会をはじめ、各種団体等からの推薦と一般公募を合わせて32名の皆様にご参加頂きました。

第1回目は、以下の2つをテーマに行いました。

グループワーク1 現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

グループワーク2 八幡市庁舎の計画案について語ろう

市長のあいさつ

市民ワークショップ開会にあたり、堀口市長から整備事業のこれまでの経緯、防災拠点としての庁舎、市民が集う場としての庁舎への思いをお話いただきました。



門内教授のあいさつ

八幡市新庁舎整備アドバイザーであり、今回のメインファシリテーターである門内教授から、市民ワークショップの意義や進め方を、近年の動向や将来的なビジョン、他事例を織り交ぜながら説明いただきました。



門内 輝行

大阪芸術大学 芸術学部建築学科 教授・学科長 / 京大名誉教授
八幡市新庁舎整備アドバイザー/プロポーザル評価委員会・委員長

ニュースレターについての
問い合わせ先

八幡市役所 総務部 総務課 庁舎整備担当まで

TEL : 075-983-1111 (代表)

075-983-2932 (直通)

共催 : 株式会社 山下設計 関西支社

ワークショップの流れ

事業概要の説明

八幡市総務課 山口氏から、これまでの経緯、基本方針、今後のスケジュールなどを説明しました

基本方針

- ①安心・安全な庁舎
- ②利便性の高い庁舎
- ③市民に親しまれ、開かれた庁舎



グループワーク1

現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

今の八幡市庁舎の写真を参考に、皆さんが常日頃思っている事を挙げてもらいました



計画案の説明

山下設計 鷹箸氏から新庁舎案についての概要を説明しました



グループワーク2

八幡市庁舎の計画案について語ろう

計画案について思ったこと、気づいたこと、こうして欲しいことなどを自由に挙げてもらいました



まとめ

門内教授から今回のWSを総括してもらいました

5つのグループに分かれ、様々なご意見をだして発表してもらいました

グループ①



「ここがいい」9のご意見
「ここがまいち」19のご意見

- ・雰囲気暗い
- ・並木は印象的
- ・執務室が2つに分かれて分かりにくい

「何でも自由に」21のご意見

- ・ロータリーは広く
- ・西日を考慮して
- ・液状化が心配
- ・レストラン、展望

29のご意見

グループ②



「ここがいい」9のご意見
「ここがまいち」18のご意見

- ・アットホームでいい
- ・大階段はいい感じ
- ・駐車場が狭い
- ・地下食堂が使いづらい

「何でも自由に」1のご意見

- ・総合受付の充実を
- ・市民協働ひろば重要
- ・各広場をつなげて

29のご意見

グループ③



「ここがいい」10のご意見
「ここがまいち」25のご意見

- ・入口が多くていい
- ・天井が高く開放感ある
- ・授乳室、保育室がない
- ・エスカレーターない
- ・自慢するところがない

「何でも自由に」1のご意見

- ・フリースペース、Wi-Fi
- ・北側の道路が渋滞しそう
- ・屋上にビアガーデン
- ・もっとアートを

23のご意見

グループ④



「ここがいい」2のご意見
「ここがまいち」21のご意見

- ・緑が多い
- ・議場は見やすくていい
- ・市民の休む場所がない
- ・ATMが庁内にない
- ・案内が分かりづらい

「何でも自由に」12のご意見

- ・2階がメインとなるので安心した
- ・屋上利用を検討して
- ・観光案内、物産品など

16のご意見

グループ⑤



「ここがいい」10のご意見
「ここがまいち」37のご意見

- ・男山が見える、立地が良い
- ・窓口は行きやすい
- ・ゴミ収集車きけん
- ・土の範囲が少ない
- ・議場が閉鎖的

「何でも自由に」12のご意見

- ・雨天時に利用できる広場に
- ・高低差のある広場は使いづらい
- ・緑が少ない
- ・バリアフリーを考えて

30のご意見

主な意見 現在の八幡市庁舎のいい所・わるい所

「ここがいい」

- くすのき（緑）があるのはホッとする
- 市民広場があるのは良い
- 文化センター、母子健康センター、銀行などが近いのが良い
- 庁舎入口が複数あって入りやすい
- ワンフロアにぐるーっと職員さんが働いていて距離が近くていい

「ここがまいち」

- 西側前面道路から庁舎に入りにくい
- 駐車場が狭い・わかりにくい
- 雰囲気が暗い
- 食堂が地下で暗い
- エスカレーターがない
- 市役所内にくつろぎの空間がない
- 八幡市を紹介するものがない
- 水害に対する備えがない

※頂いたご意見の一部を掲載しています

主な意見 八幡市庁舎の計画案について語ろう

市庁舎に欲しい

- レストラン・カフェ・コンビニ
- 老若男女のコミュニティスペース
- コンビニや名産品を売る所
- 八幡市を案内する場所
- 複数の出入口

こんな風にしたい

- 防災ひろばと文化センターを連携
- 市民ひろばでイベント（祭り）などができるように
- 日常的な居場所に
- 緑の公園に

ちょっと心配...

- ピロティが暗くならないか
- 一般車両の駐車場の入口が1カ所では混雑するのでは
- 市民が集まる広場に・魅力がある
- 将来を見据えた規模設定？

その他

- コミバスを市役所経由に
- 周辺整備に竹を利用して八幡らしさを
- 分庁舎をなくし新庁舎のエントランススペースに
- ロータリー、アプローチ重要

※頂いたご意見の一部を掲載しています

まとめ

ワークショップ（WS）は集団による創造の優れた手段です。複数のグループに分かれて対話を重ねることで、限られた時間内に実に多くの意見や提案を得ることができるからです。

今回のWSでは、防災拠点としての市庁舎の役割、市民広場や防災広場の在り方、イベントへの対応、緑の配置、市庁舎へのアクセス、駐車場やロータリーの在り方、カフェ・レストラン・コンビニの設置、外観のデザイン、工事中の問題への対応など、市庁舎に関わる重要なポイントを鋭く指摘して頂きました。

設計者にはWSの成果をぜひ基本設計に活かして頂きたいと思っております。

